

これが好き!

闘牛

×

高校生

生まれた時から牛と一緒に。
夢は看護師、そしてチャンピオン

やましる じゅんな
山城 純奈さん

うるま市の高校に通う山城純奈さんは、毎日欠かさず牛舎へ通う闘牛士。勉強と牛の世話を両立しながら、看護師と牛のチャンピオンを目指す日々を聞きました。

私の宝物



私の牛のダイヤ。中学の卒業式も一緒だったよ。

牛とは、生まれた時から一緒です。父が闘牛を飼育していて、親戚も牛舎を持っていました。牛舎に通ううちに自分の牛が欲しくなり、中学生の頃に父に伝え、「牛舎の手入れもやってくれるなら」と許してくれました。そして翌年、何の相談もなくサプライズでプレゼントされたんです。今は、高校から帰ると着替えて、そのまま牛舎へ直行します。牛を外に出して掃除をし、父が草刈りに行く間は、牛の散歩や手入れをします。これが毎日のルーティンです。

勉強も手を抜きません。中2で英検準2級に合格し、中3の通知表はほとんど5でした。高校生の今、テスト期間中は、牛の世話を終えて帰る夜9時から1時まで、牛舎の監視カメラをスマホで見ながら勉強し、朝4時に起きます。家族に勉強しなさいと言われたことは一度もなく、全部自分で決めてきました。私にとって牛は家族であり、彼氏のような旦那さんのような、かけがえない存在。とにかくかわいいんです。学校が嫌な日も「今日は牛に会えるから頑張ろう」と思えて、気持ちの

面で本当に助けられました。だから、辛いことを抱える同世代の皆さんには、自分ができる範囲で楽しみを作ることをおすすめしたい。ドラマやSNSを見て何となく「いいな」と憧れたものから、いつか目標になるかもしれない。将来の夢は看護師です。英語も好きなので、基地の中の看護師として働ければ、定期的に休みがとれて牛の世話と両立できると思ったんです。闘牛士としては、牛がチャンピオンになるまで頑張りたい。この夢は、たぶん一生続きます。